



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月15日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6572 URL http://rpa-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年2月期第1四半期 | 3,102 | 46.1 | 118 | △30.3 | 110 | △11.7 | 28 | △44.3 |
| 2020年2月期第1四半期 | 2,123 | 19.0 | 169 | △14.6 | 125 | △36.1 | 51 | △58.7 |

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 28百万円 (△44.3%) 2020年2月期第1四半期 51百万円 (△58.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年2月期第1四半期 | 0.49 | 0.44 |
| 2020年2月期第1四半期 | 0.94 | 0.83 |

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年2月期第1四半期 | 18,389 | 13,135 | 71.4 |
| 2020年2月期 | 18,028 | 13,106 | 72.7 |

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 13,130百万円 2020年2月期 13,101百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|-----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | — |
| 2021年2月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年2月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------------------|--------------|-------------|----------------|-------------|----------------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,000 ～12,500 | 9.2 ～24.1 | 300 ～700 | △36.3 ～48.6 | 250 ～650 | △34.6 ～70.1 | 0 ～220 | — | 0.00 ～3.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年2月期1Q | 58,358,500株 | 2020年2月期 | 58,358,500株 |
| 2021年2月期1Q | －株 | 2020年2月期 | －株 |
| 2021年2月期1Q | 58,358,500株 | 2020年2月期1Q | 54,593,414株 |

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、日本国内でも緊急事態宣言による外出自粛要請を受けて景気の減速傾向が一層強まる結果となりました。緊急事態宣言解除後も依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,102百万円（前年同四半期比46.1%増）、営業利益は118百万円（前年同四半期比30.3%減）、経常利益は110百万円（前年同四半期比11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28百万円（前年同四半期比44.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「RaaS事業」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!mini」ともに導入企業が拡大しました。一方でエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件の受注が減少しました。

その結果、ロボットアウトソーシング事業では、売上高は775百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益（営業利益）は72百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は2,258百万円（前年同四半期比84.2%増）、セグメント利益（営業利益）は227百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は5百万円（前連結会計年度比51.9%減）、セグメント損失（営業損失）は89百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が250百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は18,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ361百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ490百万円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が302百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円減少いたしました。これは主に社債が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を28百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.4%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年2月29日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,394,441 | 12,644,802 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,313,198 | 1,234,464 |
| 仕掛品 | 634 | 9,266 |
| その他 | 616,751 | 714,401 |
| 貸倒引当金 | △1,094 | △208 |
| 流動資産合計 | 14,323,930 | 14,602,727 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 23,996 | 164,477 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,348,571 | 1,258,528 |
| ソフトウェア | 743,938 | 687,880 |
| ソフトウェア仮勘定 | 250,985 | 328,900 |
| その他 | 72 | 72 |
| 無形固定資産合計 | 2,343,568 | 2,275,381 |
| 投資その他の資産 | 1,336,707 | 1,346,774 |
| 固定資産合計 | 3,704,271 | 3,786,633 |
| 資産合計 | 18,028,202 | 18,389,360 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 848,016 | 993,660 |
| 短期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 237,250 | 234,100 |
| 未払法人税等 | 29,700 | 128,336 |
| 賞与引当金 | 67,279 | 55,462 |
| 変動報酬引当金 | 133,122 | 91,765 |
| その他 | 584,030 | 886,538 |
| 流動負債合計 | 3,099,399 | 3,589,862 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 700,000 | 600,000 |
| 長期借入金 | 1,122,000 | 1,064,000 |
| 固定負債合計 | 1,822,000 | 1,664,000 |
| 負債合計 | 4,921,399 | 5,253,862 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,881,796 | 5,881,796 |
| 資本剰余金 | 6,017,915 | 6,017,915 |
| 利益剰余金 | 1,201,828 | 1,230,522 |
| 株主資本合計 | 13,101,540 | 13,130,234 |
| 新株予約権 | 5,263 | 5,263 |
| 純資産合計 | 13,106,803 | 13,135,497 |
| 負債純資産合計 | 18,028,202 | 18,389,360 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,123,735 | 3,102,925 |
| 売上原価 | 1,292,975 | 2,194,801 |
| 売上総利益 | 830,759 | 908,123 |
| 販売費及び一般管理費 | 660,968 | 789,782 |
| 営業利益 | 169,791 | 118,340 |
| 営業外収益 | | |
| 雑収入 | 203 | 415 |
| 営業外収益合計 | 203 | 415 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,982 | 6,456 |
| 支払手数料 | 14,992 | 104 |
| 株式交付費 | 12,208 | — |
| 社債発行費 | 8,568 | — |
| 為替差損 | 249 | 547 |
| その他 | 558 | 903 |
| 営業外費用合計 | 44,560 | 8,011 |
| 経常利益 | 125,433 | 110,745 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 125,433 | 110,745 |
| 法人税等 | 73,878 | 82,051 |
| 四半期純利益 | 51,555 | 28,694 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 51,555 | 28,694 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 51,555 | 28,694 |
| 四半期包括利益 | 51,555 | 28,694 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 51,555 | 28,694 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------------------|------------------------------------|--------|-----------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | ロボット アウトソー シング事業 | ロボット トランス フォーメ ーション 事業 | RaaS事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 832,350 | 1,226,264 | 12,300 | 2,070,914 | 52,820 | — | 2,123,735 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 83,400 | 41,000 | 10,000 | 134,400 | 27,290 | △161,690 | — |
| 計 | 915,750 | 1,267,264 | 22,300 | 2,205,315 | 80,110 | △161,690 | 2,123,735 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 92,321 | 193,823 | △3,886 | 282,257 | 27,648 | △140,115 | 169,791 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△140,115千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------------------|------------------------------------|---------|-----------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | ロボット アウトソー シング事業 | ロボット トランス フォーメ ーション 事業 | RaaS事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 775,358 | 2,258,791 | 5,913 | 3,040,064 | 62,861 | — | 3,102,925 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 2,130 | 1,428 | 16,763 | 20,321 | 7,770 | △28,091 | — |
| 計 | 777,488 | 2,260,219 | 22,677 | 3,060,386 | 70,631 | △28,091 | 3,102,925 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 72,616 | 227,539 | △89,196 | 210,959 | △876 | △91,742 | 118,340 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,472千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

(報告セグメントの変更)

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「RaaS事業」について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。